

特別講演 1

「間質性肺疾患の基本」

愛知医科大学医学部 呼吸器・アレルギー内科准教授

山野 泰彦 先生

間質性肺疾患は死亡率が高く、臨床において極めて重要な疾患である。しかし、疾患の複雑さゆえに診断や治療において理解が進みづらい面があった。

近年、間質性肺陰影（ILA : Interstitial Lung Abnormalities）という新たな概念が注目を集めており、今後の胸部 CT の放射線読影において ILA の用語は広く使われていくと思われる。また、間質性肺疾患の治療面では抗炎症治療や抗線維化薬など、治療に関するエビデンスも着実に蓄積されてきている。

間質性肺疾患の病態や疾患の捉え方を正しく理解することは、患者の予後改善において極めて重要である。本セミナーでは、検診異常や初診時から間質性肺疾患をどのように診断・マネジメントするかについて、実践的かつ分かりやすく解説し、臨床現場で役立つ知見を共有する。併せて間質性肺疾患に関する最新の話題についても紹介する予定である。